

「山崎地区かるさる大作戦」が行われました

令和6年8月25日（日）、朝日町山崎地区 越地内において「山崎地区かるさる大作戦」が行われました。この「かるさる大作戦」は、里山（民家付近の山裾）の下草を刈ることで見通しを良くし、サル・イノシシなどの有害鳥獣が民家周辺に出没しにくくすることを目的に、平成18年から毎年開催されています。

この活動は、県の水と緑の森づくり事業（県民参加の森づくり）も活用しながら、継続的な里山林の維持管理を行っており、今年で18回目となります。町内に設置された有害鳥獣防止柵周辺の草刈り作業には、地元住民を中心に100名近くの参加がありました。県では、お互いに距離を十分取って作業を行うこと、体調に留意しながら活動することなど、安全に作業できるよう指導しました。今後も地区住民が一体となって森づくり活動に取り組む優良事例として末永く継続されることを願っております。



安全ヘルメットを受け取ります



早朝6時半に皆さん集合



開会式の様子



いざ、出発！



柵周辺を刈っていきます



お互いの距離を確認しながら、順調に刈り進めています



暑い中の作業と、皆さんの熱意が伝わる現場でした。